

# 鉄鋼の脱炭素に関する JAMAの対応方向性について

2026年5月13日

**一般社団法人 日本自動車工業会**

**環境技術・政策委員会**

(全 13 ページ)

## 本日のサマリー

### ■JAMAのGXスチールに対する考え方

- 低CO2鉄の早期実装に向けた移行期に必要なものと位置づけている
- 国際ルールで環境価値が認められるよう引き続き官民/業界間の連携をお願いしたい
- 自動車制度措置へ活用される際は、国際ルールを反映した運用をお願いしたい

### ■国連A-LCA\*取組 \*Automotive Life Cycle Assessment

- 公平に評価できる自動車用LCA手法の構築を目指し、国際標準化をリードしている
- 各国の政策分野と関連するため、日本提案が早期に受け入れられるよう官民連携を強化していく

**GXスチールの考え方**

国連A-LCA取組

まとめ

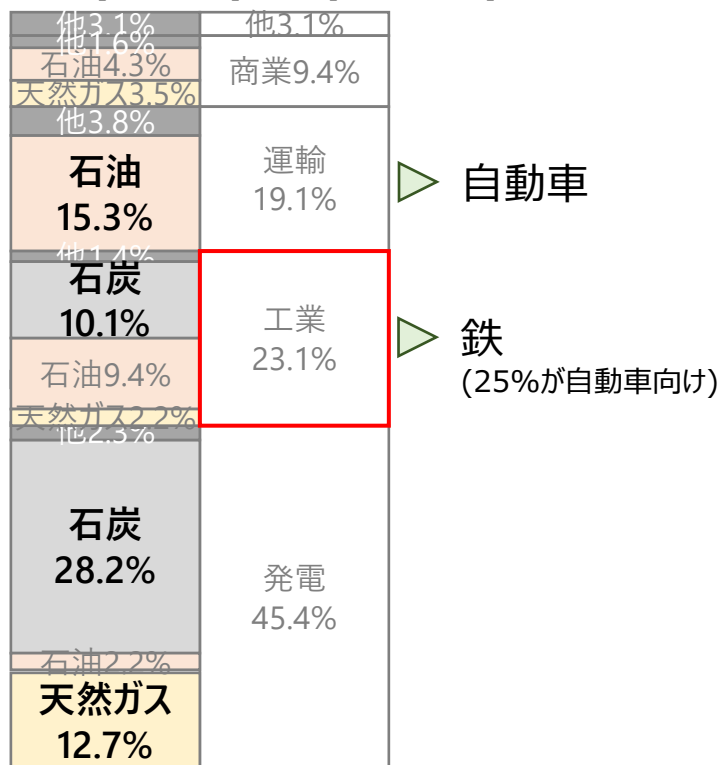
# 鉄鋼の脱炭素の必要性

## 鉄鋼のCNは、自動車並びに、国内のCNにとっても重要な位置づけ

### 国内CO<sub>2</sub>排出量

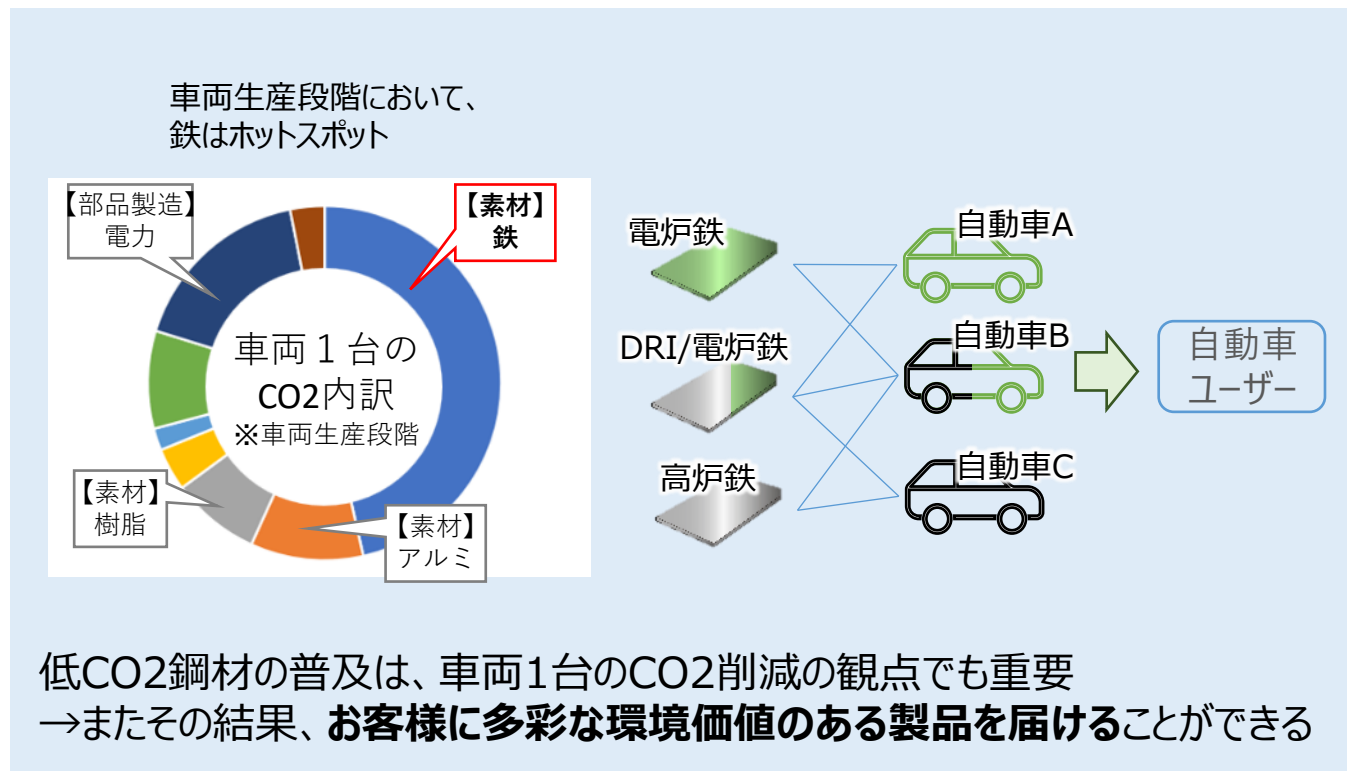
人口：124 [M]

総量：978 [Mt-CO<sub>2</sub>]=7.9 [t-CO<sub>2</sub>/人]



CO<sub>2</sub>排出由来

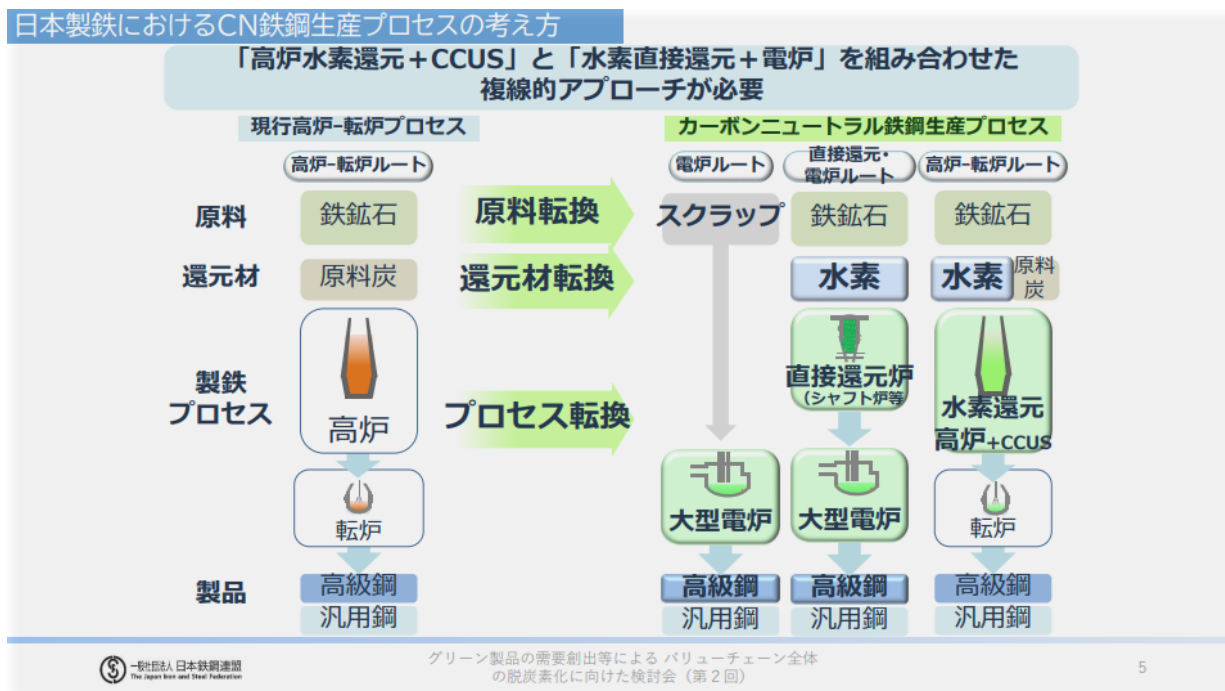
※参照：IEA WEO2024



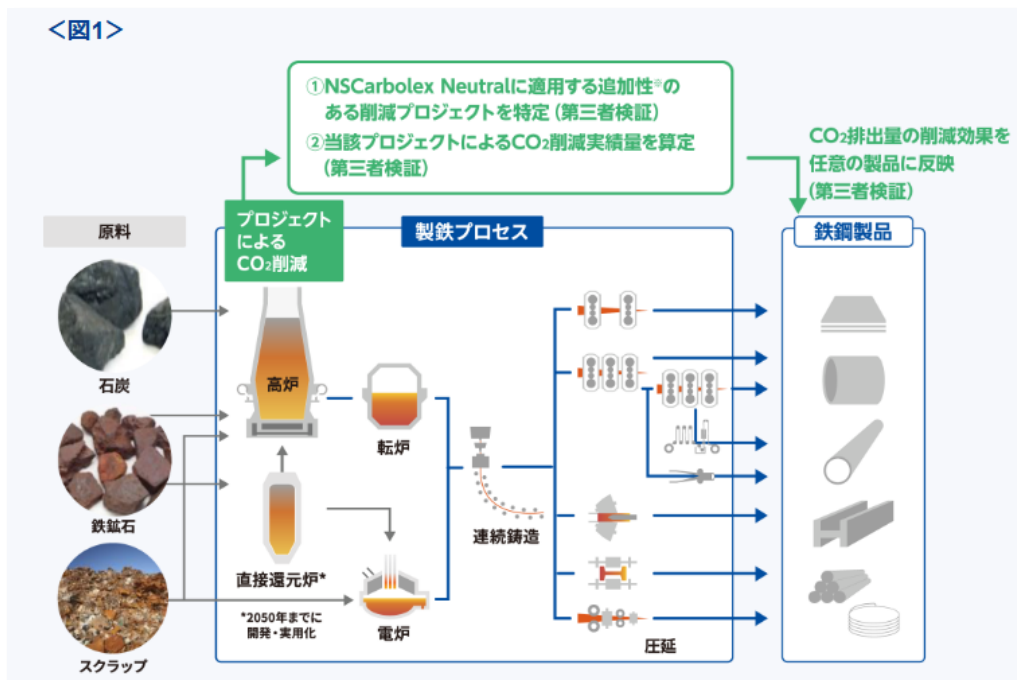
# GXスチール(アロケーション方式)の必要性

## 移行期において、鉄連殿ご提案のGXスチールの必要性は理解する

※出典：バリューチェーン全体の脱炭素化に向けた日本鉄鋼業界の取組について



※出典：NSCarbolex Neutral - NSCarbolex® [エヌエスカーボレックス]



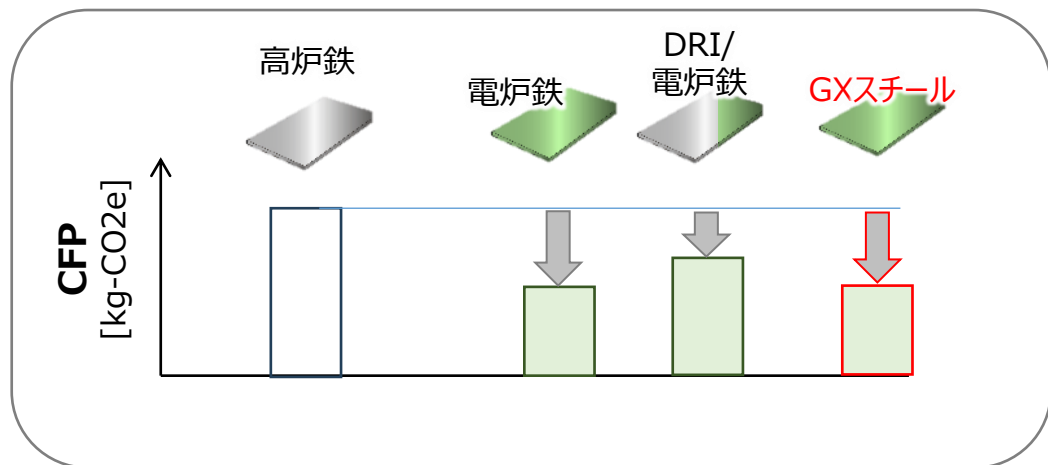
低CO2素材の普及には、段階的な投資・プロセス転換が必要

GXスチール(アロケーション方式)は、移行期に一定の役割を持つ

# GXスチール普及に向けた要望

課題はGXスチールの定義を、国際的に認められるものにする

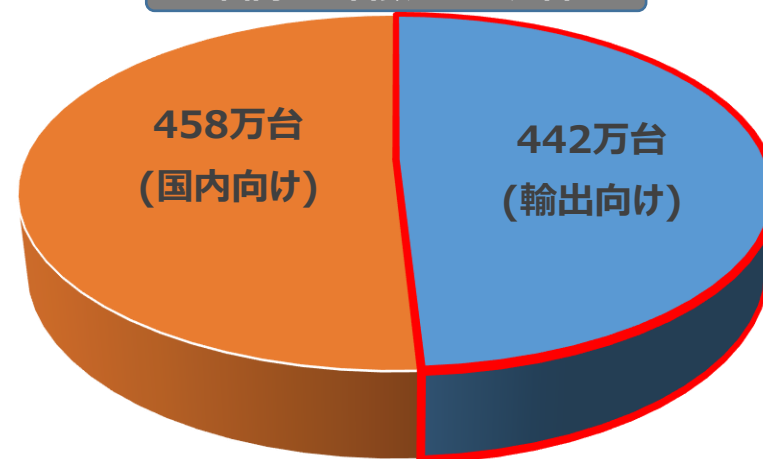
JAMAの要望は、低CO2鋼材の普及



GXスチールの普及には、「低CFP価値」が国際的に認められる必要がある

- 日本の自動車メーカーにおける国内生産状況 (2023年：四輪車)

国内生産台数：900万台



(出典) 日本の自動車工業2024より作成

国内生産の半分以上が海外に輸出される

## コンテンツ

GXスチールの考え方

**国連A-LCA取組**

まとめ

# JAMAの国際標準化活動の状況

自動車業界CNの好循環を作ること、その活動の一環でLCA手法の国際標準化を進めている

## 目的

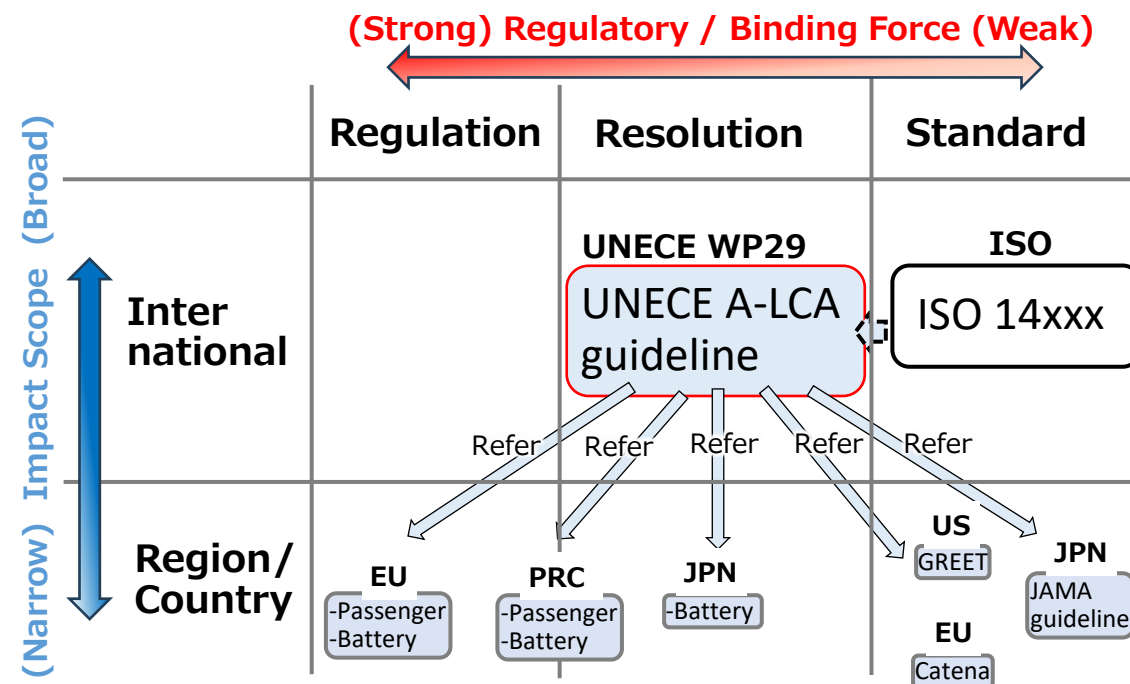
1. 環境負荷ゼロ社会(CN)に向け、「**経済と環境の好循環**」を作る、クリティカルヒットとなる政策を各国に提言する
2. 各社の**環境負荷低減の取組が適正に評価される**政策を、国内課題に限らず各国に提言する

### 目標

- 1, **公平に評価できる自動車用LCA手法の構築**
- 2, 関連省庁と連携し、**国際標準化への意見反映**
- 3, 政府/業界へ**CN取り組みを協力要請**



## <国連A-LCA ガイドラインの狙い>



# 国連A-LCAの検討状況

日本 国交省が議長国となって国際議論をリード。'26年10月GRPE承認を目指している

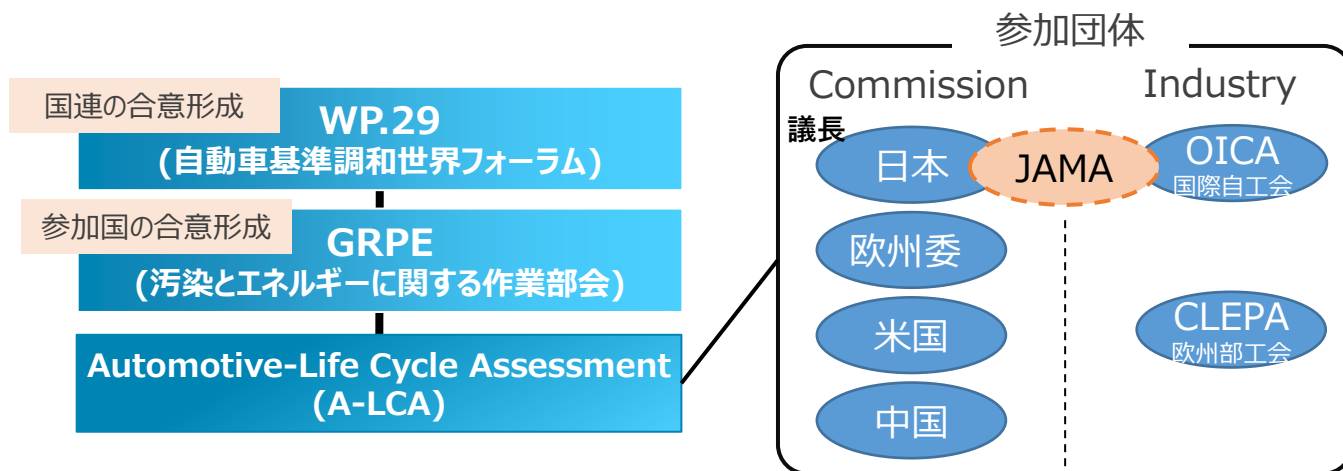
目標：国際的に公平評価できる自動車用LCA手法のWP29承認

[ECE-TRANS-WP.29-GRPE-2026-02e.pdf](#)

## 国連A-LCAガイドライン



	領域	リーダー
SG1	Leading	日本(交通研)
SG2	Material	日本(JAMA)
SG3	Production	欧州(OICA/CLEPA)
SG4	Use	欧州(EU commission)
SG5	EoL	日本(JAMA)
SG6	Fuel/Energy	日本(交通研)
SG7	Draft	欧州(OICA)



Schedule	2025												2026												2027		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
ToR							★ IWG Document		★ GRPE Working Document				★ GRPE adoption		★ WD ver2			延期	★ GRPE adoption				WP29 adoption	★			
													Industrial Guideline is planning →														

# 国連A-LCAの検討状況

多くのtopicが各国の政策と関連しており、国際調和には時間が必要、より一層官民の連携を強化して取り組みを進める

## <Chain of Custody提案>

GXスチールにも繋がる、ISOより踏み込んだ内容を提案中

Based on ISO22095



[ECE-TRANS-WP.29-GRPE-2026-02e.pdf](#)

### 7.16.3 マスバランス運用上の要件

- a. 物理的接続
- b. 管理範囲
- c. 二重計上防止
- d. 技術的実現可能性
- e. 技術的同等性
- f. 追加的削減措置

A-LCAはEU法、Batt規則、IAA/low carbon steelなど多くの政策分野と関連している

各国の思惑があり、日本の主張が必ずしも認められない懸案もある

## <'26年3月GRPEでの各団体スタンス>

[\(A-LCA\) Status report of the IWG on A-LCA | UNECE](#)

			Position							
			no position	agree	need more time	not support				
Annex	Paragraph	sub-paragraph	title / description	CP_A	CP_B	CP_C	NGO_1	NGO_2	NGO_3	NGO_4
General	(Whole Document)									
Main	2.3.	Table 1	Discrepancy factor							
			Deterioration factor							
			Future changes in energy mix							
			Determination of powertrain component replacement							
	3-48.		Market-mediated effects							
	3-66.		Recycled Content Method							
	3-75.		Type III environmental declarations							
	5-3.		System boundaries							
	5-3-1.		Infrastructure and capital goods							
	5-4-3.		Primary data share							
	5-4-4.		Allocations							
	5-4-4.1.	Figure 4.	Waste vs Co-product							
	5-4-5.		Chain of custody							
	5-4-5-3.	(a)								

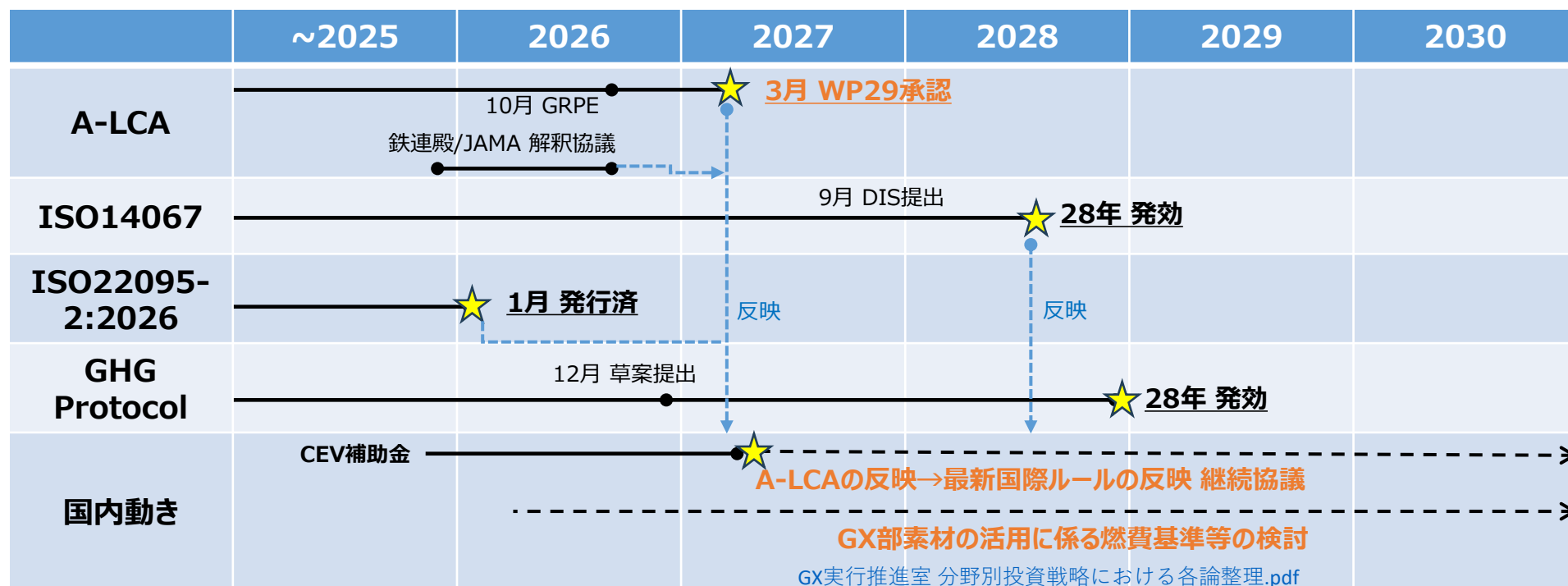
title / description	CP-A	CP-B	CP-C
Chain of custody	agree	agree	Not support

# GXスチールに関連する国際ルール

JAMAは自動車業界においてGXスチールの環境価値が、国際的に評価されるよう引き続き取り組む

- ・ISO, GHGプロトコルなど**国際ルールにおいても環境価値が認められるよう**引き続き官民挙げての対応をお願いしたい
- ・自動車制度措置へ活用される際は、**国際ルールを反映した運用**をお願いしたい

## ◆国際標準の動き



## コンテンツ

GXスチールの考え方

国連A-LCA取組

まとめ

## ■JAMAのGXスチールに対する考え方

- 低CO2鉄の早期実装に向けた移行期に必要なものと位置づけている
- 国際ルールで環境価値が認められるよう引き続き官民/業界間の連携をお願いしたい
- 自動車制度措置へ活用される際は、国際ルールを反映した運用をお願いしたい

## ■国連A-LCA\*取組 \*Automotive Life Cycle Assessment

- 公平に評価できる自動車用LCA手法の構築を目指し、国際標準化をリードしている
- 各国の政策分野と関連するため、日本提案が早期に受け入れられるよう官民連携を強化していく